

本書では、LINE 6 オーディオインターフェース製品と Ableton Live Lite 7 LINE 6 Edition を使った基本的な操作例を紹介します。

ここに書かれている内容は、Live Lite 7 LINE 6 Edition の取扱説明書に代わるものではありません。また、Live Lite 7 LINE 6 Edition は、Ableton 社より供給された製品のため、タスカムカスタマーサポートではサポート対象外となりますので、いかなるお問い合わせにもお答えすることはできません。

ご使用方法につきましては、Live Lite 7 LINE 6 Edition のヘルプメニュー（PDF マニュアル）をご参照いただきますようお願い致します。

**ヒント**

画面左下の《インフォビュー》に各機能の操作方法が表示されます。この部分を参照していただくことにより、操作方法をリアルタイムに確認することができます。

目次

本書の表記 .....	1
商標に関して .....	1
Live Lite 7 LINE 6 Edition のインストール .....	2
Live Lite 7 LINE 6 Edition のアンロック .....	4
Live Lite 7 LINE 6 Edition を使った録音 .....	5
準備 .....	5
録音 .....	8

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。  
パソコンのディスプレイに表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。  
必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

**ヒント**

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

**メモ**

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

**注意**

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。  
Microsoft, Windows, Windows XP, Windows

Vista, および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple, Macintosh, Mac OS および MacOS X は、Apple Inc. の商標です。

Line 6 は Line 6, Inc 社の登録商標です。

Ableton, Ableton Live は Ableton AG の商標です。

ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## Ableton Live Lite 7 クイックスタートガイド

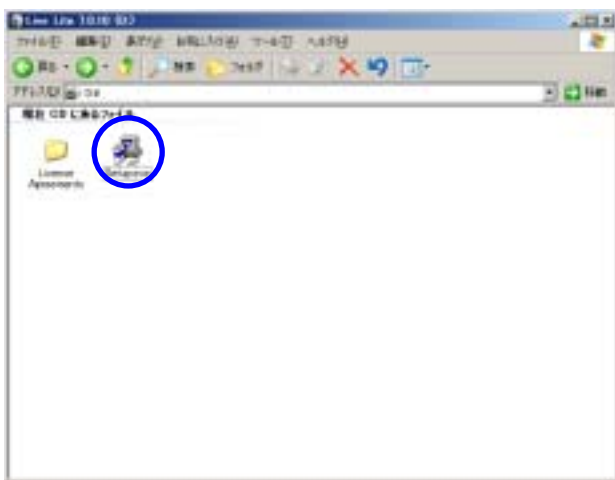
### Live Lite 7 LINE 6 Edition のインストール

- Windows -

#### メモ

Live Lite 7 LINE 6 Edition をインストールする際は、他のアプリケーションソフトを終了しておいてください。

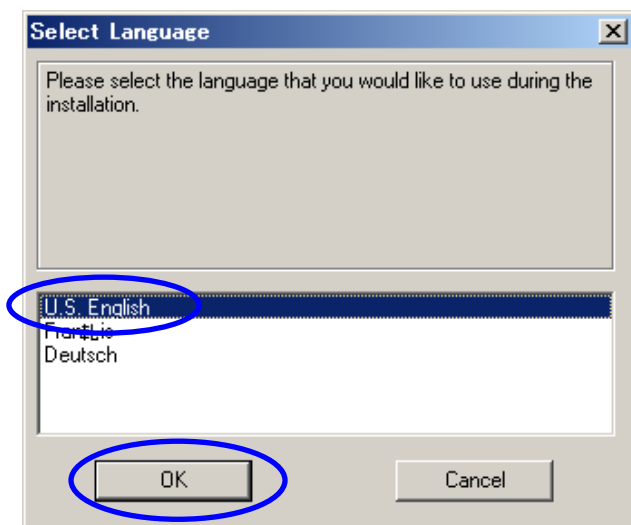
1. Live Lite 7 LINE 6 Edition CD-ROM をパソコンにセットします。
2. 《マイコンピュータ》から CD-ROM 《Live Lite 7.0.10》を開き、《Setup.exe》をダブルクリックして起動します。



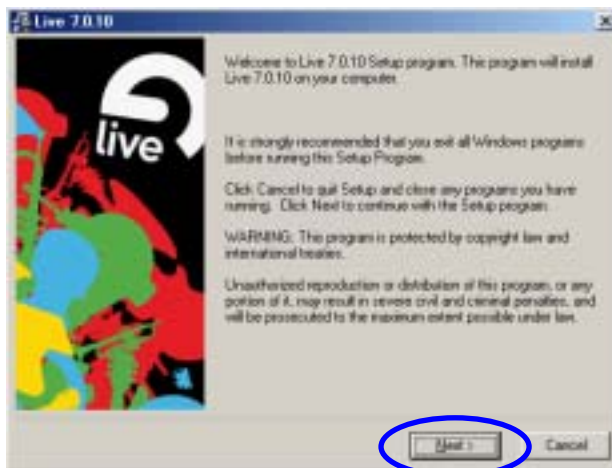
3. インストーラーが起動します。インストール時の言語選択画面が表示されますので、言語を選択し、《OK》ボタンをクリックします。

#### メモ

この画面では、言語の選択肢に日本語がありません。以降は、“US English”を選択した場合の解説をします。



4. 以下のインストール開始画面が表示されます。《Next》ボタンをクリックします。

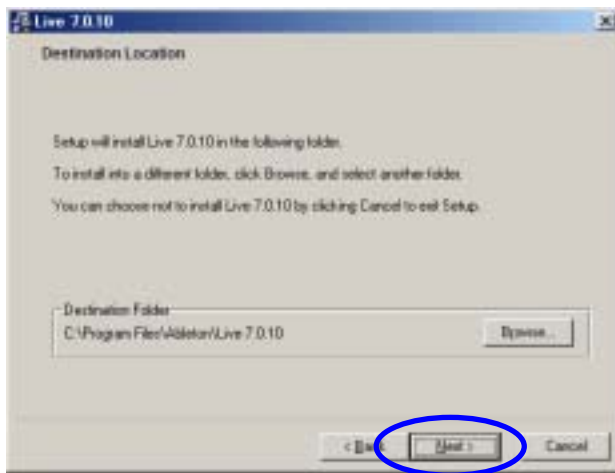


5. エンドユーザーライセンス契約書の画面が表示されます。内容をご確認の上、《I Agree》（同意します）にチェックを入れ、《Next》ボタンをクリックします。



6. インストール場所の確認画面が表示されます。必要に応じてインストール場所を選択し、《Next》ボタンをクリックします。特に希望が無ければ、変更する必要はありません。そのまま《Next》ボタンをクリックします。

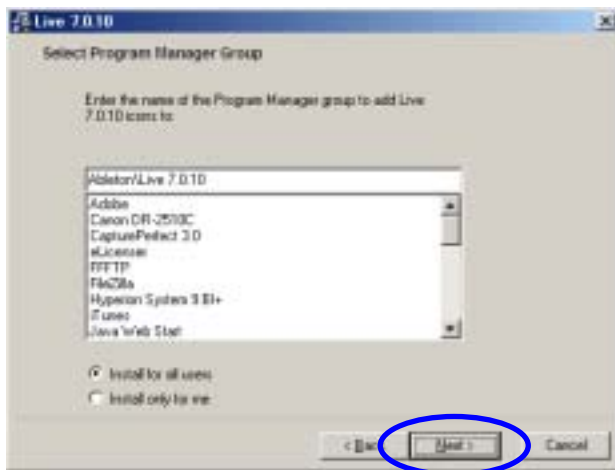
## Ableton Live Lite 7 クイックスタートガイド



7. 以下の画面で、プログラムマネージャーグループを選択し、《Next》ボタンを押します。特に希望が無ければ、そのまま《Next》ボタンをクリックします。



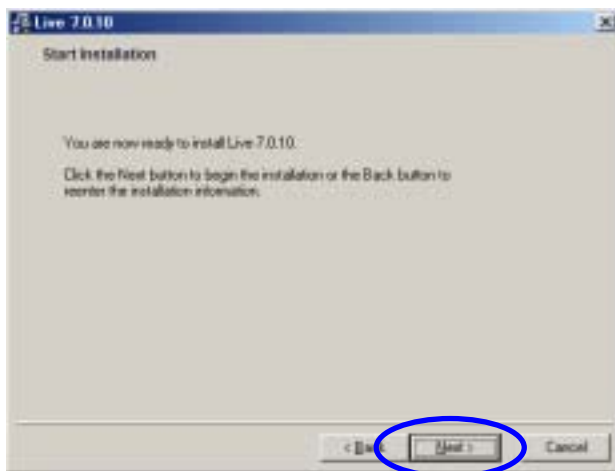
10. インストールが完了すると、以下の画面になります。《Finish》をクリックして、インストーラーを終了します。



8. インストーラーの開始を行う画面が表示されます。《Next》ボタンをクリックしてインストールを開始します。



以上でインストールは完了です。



9. インストール中は、以下の画面になります。

## Ableton Live Lite 7 クイックスタートガイド

- MacOS X -

Live Lite7 Line 6 Edition MacOS X版のインストールは簡単です。

1. Live Lite 7.0.10 1 CD-ROMをMacにセットします。CDのアイコンと「Live Lite 7.0.10」ウインドウが開きます。



開かない場合は、CDのアイコンをダブルクリックしてください。

2. 「Live Lite 7.0.10」ウインドウの「Live Lite 7.0.10 Mac OS X」フォルダをアプリケーションフォルダへドラッグします。



3. コピーが完了したら、インストールは終了です。



### Live Lite 7 LINE 6 Edition のアンロック

Live Lite 7 LINE 6 Edition をアンロックせずに使用すると、ファイルの保存やエクスポートができません。アンロックすることにより、Live Lite 7 LINE 6 Edition の全ての機能を利用することができるようになります。

#### 注意

Live Lite 7 LINE 6 Edition をアンロックするためには、オンライン認証を行うためのインターネット回線が必要です。

1. Live Lite 7 LINE 6 Edition を起動します。  
《スタート》《全てのプログラム》《Ableton》《Live 7.0.10》 《Live 7.0.10》

#### MacOSの場合

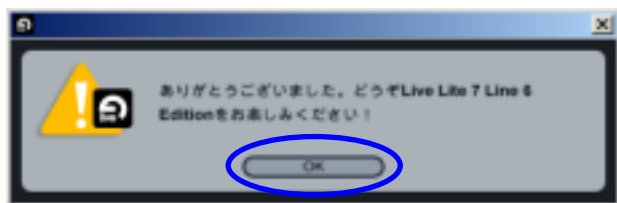
アプリケーションフォルダ内の「Live Lite 7.0.10 Mac OS X」フォルダをダブルクリックで開き、開いたウインドウ内右端の黒いアイコン「Live」をダブルクリックしてください。以降の手順は Windows 版と同様です。



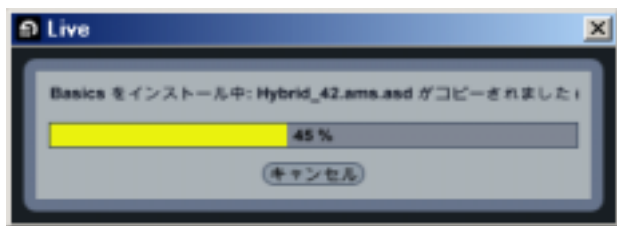
2. 画面上部に CD-ROM と一緒に同梱されているカードに記載されているシリアル番号を入力します。



3. 《オンラインでアンロック》ボタンをクリックします。認証が完了すると以下の画面が表示されます。



4. 《OK》ボタンをクリックします。Live Lite 7 LINE 6 Edition を利用するために必要なコンポーネントのインストールが始まります。



5. インストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、《OK》ボタンをクリックしてください。



-----  
Live Lite 7 LINE 6 Edition を使った録音  
-----

Live Lite 7 LINE 6 Edition は、Ableton 社より供給された製品のため、タスカムカスタマーサポートではサポート対象外となりますので、いかなるお問い合わせにもお答えすることはできません。

詳しい操作内容につきましては、Live Lite 7 の取扱説明書をご参照ください。

-----  
準備

1. Live Lite 7 LINE 6 Edition を起動し、《オプション》メニューから《環境設定...》を選択します。



2. 以下の画面（オーディオデバイス設定画面）が表示されます。この画面で、オーディオドライバの選択、オーディオ入出力デバイス、入出力チャンネルの設定、サンプリング周波数などを設定します。



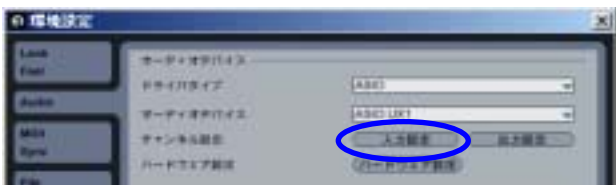
3. 《ドライバタイプ》のパラメーター部分をクリックして《ASIO》を選択します。



4. 《オーディオデバイス》のパラメーター部をクリックし、現在使用しているオーディオインターフェースを選択します。(下図は、UX-1 を使用した場合の例です)



5. 《チャンネル設定》の《入力設定》をクリックします。



6. 以下の画面が表示されます。



7. Live Lite 7 LINE 6 Edition のトラックで使用したい入力を選択し、画面下部の《OK》ボタンをクリックします。

8. セッションビュー画面で、マスターチャンネルに右にある、入力/出力セクションの表示/非表示ボタンを押し(黄色くし)、入力/出力セクションを表示します。

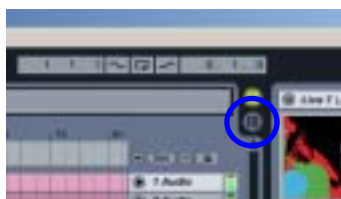


[入力/出力セクション非表示時]



[入力/出力セクション表示時]

メモ  
アレンジメントビュー画面が表示されている場合は、右上の《セッションビューセレクト》ボタンをクリックし、セッションビュー画面を表示します。



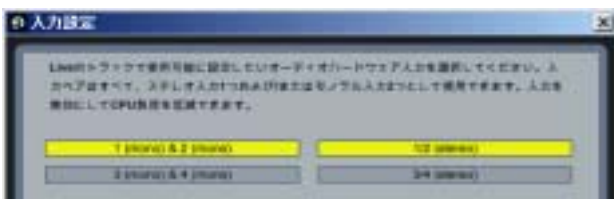
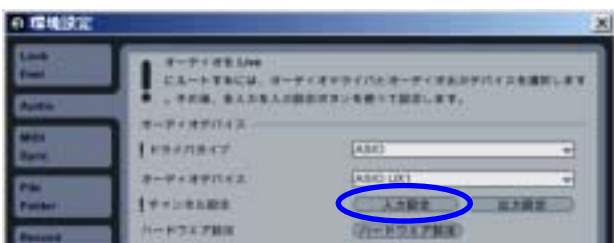
9. 録音する音をモニターするために、録音するチャンネルの《Monitor》セクションの《In》スイッチをオン(橙色)にします。



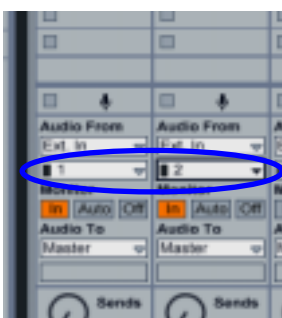
10. オーディオインターフェースの入力端子（入力タイプ）の選択をします。



《Configure》を選択すると、《環境設定》画面が表示されますので、この画面で《入力設定》をクリックし選択することもできます。



11. 各チャンネルにおいて、入力するチャンネル（オーディオインターフェースの入力端子）を選択します。



12. 各チャンネルにおいて、出力バスを選択します。



**メモ**

モニターミックスは、チャンネルのフェーダー、パンポット、マスターのフェーダーを使って調節します。



**ヒント**

マスターチャンネルには、初期設定状態でコンプレッサーがオンになっています。コンプレッサーをオン/オフしたり調節をしたい場合は、《マスタートラックタイトルバー》をクリックし、コンプレッサーが画面下に表示することで調節が可能となります。





**メモ**  
コンプレッサー設定画面左上に、コンプレッサーのオン/オフスイッチがあります。



録音

- 録音するチャンネルの《アームボタン》をオン（赤く）にします。パソコンの Ctrl ボタンを押しながら《アームボタン》をオンにすると、同時に複数のチャンネルに録音することができます。



- 画面上部の《グローバル録音ボタン》をクリックし、《再生ボタン》を押すと録音を開始します。



画面右の《アレンジメントビューセクタ》ボタンをクリックすると、アレンジメントビュー画面を表示します。

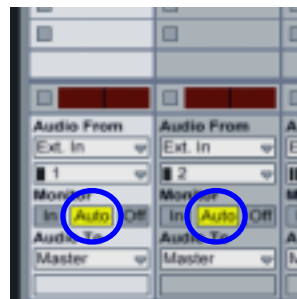


[アレンジメントビュー画面]

- 録音が終了したら、画面上部の《停止ボタン》をクリックして、録音を停止します。もう一度《停止ボタン》をクリックすると、曲の先頭にロケートします。



- 再生を行う場合は、チャンネルの《Monitor》部分の《Auto》スイッチをオンにします。



以上で、オーディオ録音に関するご説明は終了です。詳しい操作内容につきましては、Live Lite 7 の取扱説明書をご参照ください。

また、Live Lite 7 LINE 6 Edition は、Ableton 社より供給された製品のため、タスカムカスタマーサポートではサポート対象外となりますので、いかなるお問い合わせにもお答えすることはできません。